

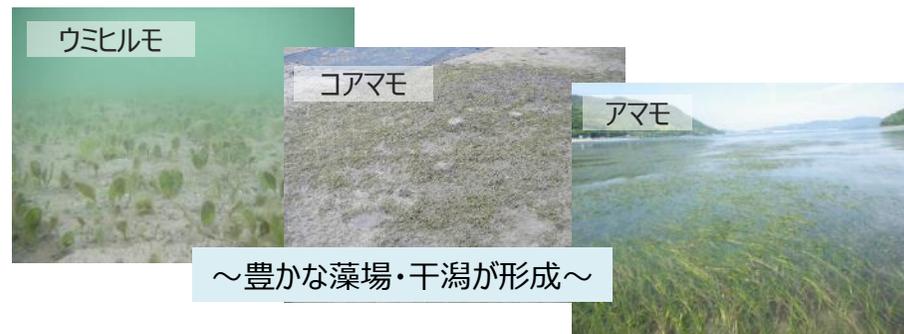
# 「大島干潟から、つながる周南市ブルーカーボンプロジェクト in 徳山下松港」

## (0) 大島干潟の概要

## (1) 今年(2023年)度の活動内容

## (2) 今後の活動計画

## (3) その他



山口県漁業協同組合周南統括支店  
大島干潟を育てる会 周南市

# (0) 大島干潟の概要

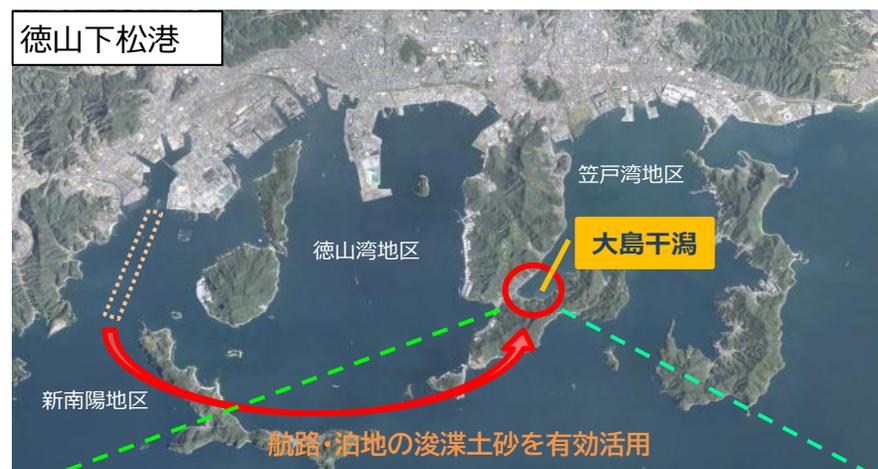
## 大島干潟の概要

- 徳山下松港における航路泊地などの**港湾整備の促進**と、**瀬戸内海で喪失した浅場の再生**に資すること等を目的に、新南陽地区の航路泊地整備に伴い発生する浚渫土砂を活用し造成した、**アサリの自律的再生を主目標とする日本初の約29haの人工干潟**である。
- 平成15年度から29年度まで**に国土交通省において造成工事を行い、その後、**周南市が移管を受け、管理**を行っている。

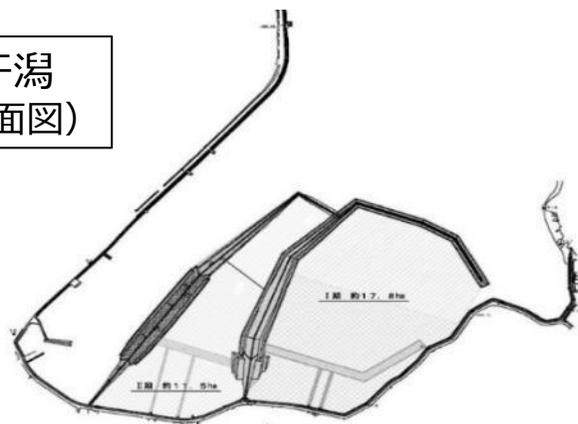
## 周南市の概要



## 徳山下松港



## 大島干潟 (計画平面図)



## 大島干潟 (現況写真)



# (1) 今年(2023年)度の活動内容【1/2】

## 1. 大島干潟を育てる会による定期保全活動《月1~2回の年13回実施》

- 会員15名により、アサリの間引き・被覆網張り替え、カキの養殖試験などの作業実施



アサリの間引き作業



アサリ養殖用被覆網の張り替え作業



カキのシングルシード養殖試験

## 2. 環境学習の実施《令和5年10月26日(木)開催》

- 毎年市内小学生を対象に「海辺の自然学校in周南」を開催され、藻場・干潟に生息する多様な水生動植物を観察することで、大島干潟での自然の豊かさを知ってもらう海洋環境学習を実施されている



集合写真



座学(干潟について)



アサリの間引き



水生動植物の観察



人文字ドローン撮影

# (1) 今年(2023年)度の活動内容 【2/2】

## 3. 大島干潟キッズDAY(全3回)の開催

※主催:ドリームスクール実行委員会、共催:育てる会、協力:漁協、市

- 小学生親子を対象に、年3回（7月、11月、3月）開催し、それぞれの季節（夏、秋、春）の干潟での生き物観察を実施する
- ブルーカーボン、生物多様性、地球温暖化防止、SDGsなどについて学習する

大島干潟 キッズDAY  
大島干潟の豊かな自然と生き物と出会う。(第3回)

日時 令和6年3月24日  
14:00~15:30開催

開催場所 大島干潟 (大島町 大島町立大島小学校)

対象 小学生とその家族15組  
(参加費無料、定員に達した場合は抽選)

参加費 Dより500円 (大島町立大島小学校)

申し込み方法 高層QRコードから申し込み、応募フォームから申し込み(必須)

申し込み締切 2024年3月15日(金) 15:00

お問い合わせ 大島町立大島小学校 電話:0834-32-1111

大島干潟で出会う生き物  
12月10日(日)開催

大島干潟は、豊かな自然と生き物と出会うことができます。生き物の観察を通して、自然の大切さや環境の大切さを学びます。

観察する生き物  
アサリ、カキ、アマガモ、コアマモ、マコガレイ、クルマエビ

観察方法  
観察は、観察用メガネを通して行います。観察用メガネは、観察用メガネの持ち主が事前に用意してください。

観察時間  
観察時間は、10:00~12:00です。

観察料  
観察料は、観察用メガネの持ち主が事前に用意してください。

申し込み方法  
申し込みは、観察用メガネの持ち主が事前に用意してください。

申し込み締切  
申し込み締切は、2024年10月15日(金) 15:00です。

お問い合わせ  
お問い合わせは、観察用メガネの持ち主が事前に用意してください。



## 4. R4年度Jブルークレジット®購入者との交流(報告会、見学会)

- 報告会：購入者をお招きし、販売者から感謝の意を伝え、購入者から購入したクレジットの使い道などをスピーチしてもらう
- 見学会：「海辺の自然学校」の様子と併せて、育てる会の保全活動（カキ、アサリの養殖）やアマモ、コアマモの生育状況を見学する



## 5. アマモ場を活用する栽培漁業(種苗放流)の実施

- マコガレイ 41,000匹、クルマエビ 27,000尾 を放流  
⇒ 順調に育てば、令和7年から漁獲可能となる



## (2) 今後の活動計画 ～市内他地域へのブルーカーボン生態系の拡大～

プロジェクト名の『大島干潟から、つながる・・・』を実現するために…

⇒ 徳山下松港内の他地域のブルーカーボン創出を実施!!

市内他地域での藻場づくりとしての候補地調査・選定  
他地域で活用できる「ブルーカーボン生態系保全マニュアル」の作成

⇒ 候補地選定

① 笠戸湾地区：大島干潟周辺（沖山地区など）【アマモなど】

② 徳山湾地区：コンビナート企業の民有護岸【ワカメやガラモなど】

③ 新南陽地区：戸田地区（西津木干潟）、N7干潟など【アマモなど】



# (3) その他 ～大島干潟での生物多様性～

## 干潟や藻場に生息する生物が増加

### 貝類



アカニシ



アカニシの卵塊



タイラギの仲間



ハマグリ



トリガイ



マガキ



アサリ



アサリ



ウミナナの仲間



ツメガイ



ツメガイの卵塊



アラムシロ



イガイの仲間



ホトトギス



キセワタ



アマモ場

コアマモ場

ドローンによる撮影 (2023年5月17日、第Ⅱ工区)



アマモ



コアマモ

### 魚類



ヒラメ



カレイ



クロダイ



アマメハギ

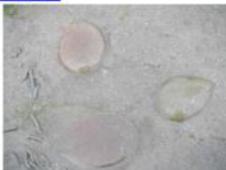


アカエイ



コンゴウフグ

### その他



タマシキゴカイの卵塊



タマシキゴカイの糞塊



海綿動物のなかま

### 甲殻類



クルマエビ



タイワンガザミ



コメツキカニ



テッポウエビ



イシガニ



シオマネキ類